

FEEL YOUR BEAUTY

*Kanebo*  
CORPORATE PROFILE

## ごあいさつ

美しさが持つさまざまな「力」は、外見の美だけでなく、心の豊かさをももたらします。

その豊かな心の広がり、さまざまな社会課題を解決する行動の輪となり、やがてたくさんの笑顔が社会にあふれだしていく姿を、私たちは人の美にたずさわる者の思いとして、理想に描きました。

そして、人から人、人から社会へと、美を通じて豊かな心を広げ、幸福な笑顔にあふれた社会の実現に貢献することを、私たちカネボウ化粧品の使命としました。



また、その使命を果たすために、一人ひとりのお客さまを最も理解するパートナーとなり、日々の活動の中で、お客さまご自身ですら気づかれていない本来の美と個性を引き出し、その輝きをお客さまご自身に感じていただくことを、私たちは、FEEL YOUR BEAUTY という言葉に集約し、ビジョンとしました。

この活動の積み重ねこそが、美しさの先にある笑顔あふれる社会の実現につながると強く信じております。

お客さま一人ひとりの輝きを引き出す新たな価値創造のための革新と挑戦、そして社会の持続的発展と調和した誠実な事業活動により、世界の人々から信頼され、愛されるブランドとして認めていただけるよう、私たちカネボウ化粧品は努力を続けてまいります。

# 美しさの先に、笑顔を。

株式会社カネボウ化粧品

代表取締役 社長執行役員

植松 正

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Masahiro Uehira'.

## 使命とビジョン

### 使命

美しさの先に、笑顔を。

私たちは、より美しく、より心豊かに、お客さまの生活の質を高め、  
一人ひとりの幸福な人生と  
笑顔あふれる社会の実現に貢献します。

### ビジョン

FEEL YOUR BEAUTY

私たちは、一人ひとりのお客さまを最も理解するパートナーとなり、  
お客さま本来の美と個性を引き出し、  
その輝きをお客さまご自身に感じていただくことをめざします。

## 会社概要

### 株式会社カネボウ化粧品

|           |  |
|-----------|--|
| <b>役員</b> | <p>&lt;取締役&gt;</p> <p>取締役(社外) 取締役会議長<br/>神田 博至</p> <p>代表取締役 会長執行役員<br/>宮内 一</p> <p>代表取締役 社長執行役員<br/>植松 正</p> <p>取締役 常務執行役員、グローバルブランド担当、中国事業部門統括<br/>宮本 英一</p> <p>取締役 常務執行役員、国際事業部門統括<br/>寺田 彰男</p> <p>取締役 常務執行役員、管理部門統括、財務経理担当<br/>岡田 昭秀</p> <p>取締役 常務執行役員、人事総務部門統括<br/>青木 寧</p> <p>取締役 執行役員、広報・コンシューマー・美容関連部門統括<br/>木下 明彦</p> <p>取締役 執行役員、経営企画部門統括、TCR 推進担当、物流担当<br/>渡辺 賢</p> <p>取締役 執行役員、カネボウ化粧品販売(株)代表取締役 社長執行役員<br/>中嶋 信之</p> <p>取締役(社外)<br/>中川 俊一</p> <p>取締役(社外)<br/>三田 慎一</p> <p>&lt;監査役&gt;</p> <p>常勤監査役<br/>加藤 孝道</p> <p>常勤監査役(社外)<br/>勝部 和男</p> <p>監査役(社外)<br/>松井 秀樹</p> <p>監査役(社外)<br/>渡部 満泰</p> |
|-----------|--|

|      |  |
|------|--|
| 設立   | 2004年(平成16年)5月7日   |
| 資本金  | 75億円(2006年11月10日現在)  |
| 従業員数 | 13,521名(2010年度末)   |
| 事業内容 | 化粧品全般の開発、製造、販売   |
| 所在地  | <p>&lt;本社&gt;<br/>                 〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10<br/>                 03-6745-3111(代表)</p>  |

|                    |   |
|--------------------|---|
|                    | <p>&lt;本店&gt;<br/>〒105-8085 東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー</p> <p>&lt;地区営業組織&gt;<br/>北海道、東北、関東、首都圏、中日本、関西、中四国、九州 計8支社 30支店</p> <p>&lt;教育センター&gt;<br/>カネボウ化粧品教育センター(横浜市)</p> <p>&lt;工場&gt;<br/>小田原工場(神奈川県小田原市)</p> <p>&lt;研究機関&gt;<br/>国内: 価値創成研究所、スキンケア研究所、メイクアップ研究所、アジア研究所(神奈川県小田原市)<br/>美容研究所<br/>海外: パリ研究所</p> <p>&lt;流通センター&gt;<br/>北海道、東北、東京、神奈川、小田原、名古屋西、関西、福岡</p>                          |
| <b>関係会社</b>        | <p>カネボウ化粧品販売株式会社<br/>株式会社エキップ(<a href="http://www.eqp.co.jp/">http://www.eqp.co.jp/</a>)<br/>株式会社リサーチ(LISSAGE <a href="http://www.lissage.co.jp/">http://www.lissage.co.jp/</a>)<br/>カネボウコスミリオン株式会社(<a href="http://www.kanebo-cosmillion.co.jp/">http://www.kanebo-cosmillion.co.jp/</a>)<br/>株式会社ジョゼ(<a href="http://www.joset.co.jp/index.html">http://www.joset.co.jp/index.html</a>)</p> |
| <b>海外<br/>関係会社</b> | <p>カネボウコスメティックスヨーロッパ LTD.<br/>カネボウコスメティックスジャーマニー GmbH<br/>カネボウコスメティックスフランス S.A.R.L.<br/>カネボウコスメティックスイタリー S.p.A.<br/>カネボウコスメティックスロシア LLC<br/>カネボウコスメティックス USA LLC<br/>上海カネボウ化粧品有限公司<br/>佳麗宝化粧品(中国)有限公司<br/>台湾カネボウ化粧品股份有限公司<br/>タイカネボウ化粧品 LTD.<br/>カネボウコスメティックスマレーシア Sdn.Bhd.</p>   |

## 化粧品事業の歩み

|              |   |
|--------------|---|
| 1936年(昭和11年) | 絹石鹸発売   |
| 1937年(昭和12年) | 社内に化粧品事業が誕生   |
| 1949年(昭和24年) | 経済集中排除法による鐘淵化学工業の分離設立にともない、化粧品事業を移管   |
| 1961年(昭和36年) | 化粧品事業に本格参入(化粧品部門が鐘淵化学工業から復帰)、全国に14販社を設立<br>同年、香港に進出し海外展開も同時に開始                        |
| 1963年(昭和38年) | 14販社を49販社に増設、全国組織を確立  |
| 1965年(昭和40年) | パリ研究所開設   |
| 1967年(昭和42年) | 東京・銀座にカネボウ化粧品販売株式会社を設立  |
| 1969年(昭和44年) | 小田原工場始動   |
| 1974年(昭和49年) | カネボウ化粧品株式会社に社名変更  |
| 1979年(昭和54年) | ハロックス百貨店(英)で販売開始し、欧州へ進出   |
| 1980年(昭和55年) | カネボウコスメティックスヨーロッパ社設立  |
| 1981年(昭和56年) | 72販社に増設。カネボウ化粧品(株)が鐘紡(株)と合併し、化粧品部門は新たに鐘紡(株)カネボウ化粧品本部としてスタート                           |
| 1984年(昭和59年) | バイオ口紅「レディ80BIOリップスティック」を発売  |
| 1992年(平成04年) | 21世紀に向けての中長期事業戦略「マーケティングルネッサンス」発表<br>スリーフィールドマーケティングを推進<br>テストイモ「落ちない口紅」を発売           |
| 1993年(平成05年) | 地区販社を全国11販社、90支社体制に統合・再編  |
| 1996年(平成08年) | 「マーケティングルネッサンス」の第2ステージをスタート   |
| 1999年(平成11年) | 支社営業組織を流通対応型組織へと改編、あわせて11販社、74支社体制へ再編<br>カネボウコスメティックスUSA社設立                           |
| 2000年(平成12年) | 「マーケティングルネッサンス」の第3ステージを発表<br>中国・上海に新工場竣工、中国専用ブランド「AQUA」製造開始<br>米国「バーグドルフグッドマン(NY)」に出店 |
| 2001年(平成13年) | 1月1日、「鐘紡(株)」から「カネボウ(株)」へ商号変更を発表<br>タイに合併会社「タイカネボウ化粧品(株)」を設立                           |
| 2002年(平成14年) | ビューティカウンセラー向け携帯情報端末を導入  |
| 2003年(平成15年) | 東欧8カ国に進出  |
| 2004年(平成16年) | 5月、カネボウ(株)より分離・独立し、「株式会社カネボウ化粧品」を設立<br>10月、本社・地区営業組織を「流通別対応型」に再編。8地区本部49支社体制へ。        |
| 2005年(平成17年) | 1月、新スキンケアブランド「suisai」を発売<br>11月、佳麗宝化粧品(中国)有限公司設立<br>12月、中国でドラッグストア流通に参入               |

|              |   |
|--------------|---|
| 2006年（平成18年） | <p>1月、陸上競技部の運営母体を(株)カネボウ化粧品に移管</p> <p>1月、花王グループへ編入</p> <p>3月、第1回ビューティアップコンテスト&lt;アジア大会&gt;を開催</p> <p>8月、プレステージ戦略ブランド「インプレス」「ルナソル」を中国の百貨店に導入</p> <p>10月、新・肌測定器「ビューティアナライザー21AD」導入</p> <p>11月、流通別対応型営業力強化を目指し、8地区本部68支社（東名阪は流通別、ほかはエリア別）に再編</p>   |
| 2007年（平成19年） | <p>7月、本社営業組織をカネボウ化粧品販売(株)に移管</p> <p>10月、第2次ブランド改革 第1弾 高級スキンケアブランド「DEW スペリア」発売</p> <p>12月、第2弾 トータルメイクアップブランド「コフレドール」発売</p>   |
| 2008年（平成20年） | <p>3月、50代後半～60代女性に向けた新プレステージブランド「CHICCA(キッカ)」を発売</p> <p>5月、新美白ブランド「カネボウブランシール スペリア」を発売</p> <p>10月、脳科学者・茂木 健一郎氏との共同プロジェクト「『化粧・美×脳科学』プロジェクト」の研究成果を発表</p> <p>10月、ビューティカウンセラーの「再雇用制度」を導入</p> <p>11月、育児・介護責任を有する内勤従業員を対象に、「在宅勤務制度」を導入</p> <p>12月、本社の海外部門を「欧米事業本部」「アジア事業本部」「中国事業本部」の3本体制に改編</p>   |
| 2009年（平成21年） | <p>2月、新たに東欧2カ国「チェコ」「ハンガリー」に進出</p> <p>3月、マラソン、10,000m、3,000mの日本記録保持者・高岡 寿成(カネボウ陸上競技部)が現役引退。カネボウ陸上競技部コーチに就任。</p> <p>9月、中国・百貨店事業の中核ブランドとして「AQUA SPRINA (アクア スプリナ)」を発売</p> <p>9月、中国に、トータルメイクアップブランド「COFFRET D'OR(コフレドール)」を導入</p> <p>9月、カネボウコスメティックスロシア LLC の営業スタート</p> <p>12月、スーパープレステージブランド「SENSAI(センサイ)」を冠する新高級スパコンセプト「SENSAI SELECT SPA(センサイ・セレクト・スパ)」を導入。1号店は、スイスの5ツ星ホテル「ヴィクトリア・ユングフラウ・グランドホテル&amp;スパ」。</p> |
| 2010年（平成22年） | <p>4月、カネボウ化粧品の経営理念体系を見直し、「使命」と「ビジョン」を策定</p> <p>9月、中国にメイクアップブランド「KATE(ケイト)」を導入</p> <p>10月、本社の組織改編を実施。従来の3階層組織から2階層組織へとスリム化</p> <p>11月、百貨店流通で展開する最高級プレステージブランド「Impress(インプレス)」から、最高価格帯となるスキンケアライン「GRANMULA(グランミュラ)」を発売</p>  |
| 2011年（平成23年） | <p>5月、本社事務所を日本橋茅場町に移転</p> <p>8月、マレーシアに子会社を設立し営業開始</p> <p>9月、中国に、「AQUA LUNASH(アクア ルナッシュ)」を導入し、専門店流通に参入</p> <p>10月、地区営業組織を8支社30支店に再編</p>  |

## 経営推進体制

### サステナビリティ委員会

サステナビリティの理解を深め、未来に向けた社会と企業双方の持続的発展に寄与することを目的に推進しています。

- 環境戦略推進

サステナビリティの視点に立ち、社会的価値の創造を目指した環境戦略を検討・推進します。

### 内部統制委員会

業務の有効性・効率性、財務報告の信頼性、事業活動に関わる法令等の遵守ならびに資産の保全などの目的を達成するために、次の内部統制に関する機能を横断的に統合し、業務活動の質の向上を図っています。

- リスクマネジメント推進

事業活動全般にわたって生じ得るさまざまなリスクを想定した対策を立て、リスクの発生頻度や影響の低減を図るなど、適切な管理を行なうとともに、万一発生した場合の被害・損害の極小化を図ります。

- コンプライアンス推進

「倫理に基づく行動」と「法の遵守」を基本におき、良識ある公正な行動により、誠実で清潔な“徳のある企業”として、全てのステークホルダーから支持されることを目指しています。

- 情報セキュリティ推進

情報セキュリティポリシーに基づく社内ルールの制定、管理体制整備及び社内啓発活動を通じて、機密情報(TS)、個人情報、ハードウェア、ソフトウェア、各種データファイル等の情報資産の保護を図ります。

- レスポンシブル・ケア推進

化学物質を扱う企業が、開発から廃棄に至る全過程で、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、活動成果を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行うRC活動において、方針・目標・施策の立案及び目標、進捗管理を推進しています。



### 研究・開発・生産体制

お客様の持つ本来の美と個性を引き出す化粧品を開発し提供することが

私たちの使命と考えています。

最新の科学技術と感性に関する研究を通して美の本質を追求し価値の創造を進めています。また、徹底した品質管理とともに環境にも配慮した研究・開発・生産活動を行なっています。

### 研究所

#### 価値創成研究所

お客様一人ひとりに魅力ある価値をご提供するために、多角的な視点から「肌」と「美」を科学し、新しい提案をしています。たとえば「美肌」「美白」「アンチエイジング」に最先端の皮膚科学で取り組み、肌を傷つけずにメラニンやコラーゲンなどを理解する技術を追求し、さらに身体の内側（健康、心）と美のかかわりを研究しています。これらの成果をもとに、皮膚に働きかける有用な成分や、お客様ご自身に実感し満足して頂ける「豊かな個性美」（総合美）を提案していきます。

#### スキンケア研究所

お客様一人ひとりの“なりたい肌・髪”を手助けするためのスキンケア製品・ヘアケア製品をご提供するために、多様な価値観に対応したブランド・製品群を開発しています。最新の皮膚科学研究に基づくコンセプトを実際の製品として具現化すると共に、いつまでも使い続けたい官能特性（テクスチャー、香り、デザイン）を追求しています。また、内部から肌を美しく保つためのサプリメントの研究・開発も行なっています。

#### メイクアップ研究所

お客様一人ひとりの“個性”と“美”を引き立たせるメイクアップ化粧品の開発や、化粧品の画期的な進化につながる技術開発に取り組んでいます。人間工学や感性工学といった視点からのアプローチも行うことで、メイクアップ化粧品らしい“ウキウキ感”、“ワクワク感”を感じていただける製品づくりを追求しています。

研究所における最新の活動内容につきましては下記サイトにてご紹介しております。

価値創成研究所・スキンケア研究所・メイクアップ研究所ウェブサイト  
(<http://www.kanebo-cosmetics.co.jp/randd/>)



### 小田原工場

カネボウ化粧品の主力工場として、スキンケア製品、メイクアップ製品、ヘアケア製品など当社商品の約90%の製造を手掛けています。永年培ってきた技術力とノウハウを活かし、高度な生産管理システムのもとにISO（環境、品質）規格に準拠した“ものづくり”を行ない、生み出したひとつひとつの製品に対し、厳しい品質検査を行なっています。最新科学に裏付けられ、高品質で、そして安心してご使用いただける商品を日本全国、そして世界各国に送り出しています。



### 美容研究

美容研究所は1962年(昭和37年)2月に設立され、「美容を科学する」をモットーに、「人間が健康で魅力的に生きるための美容技術・情報の構築」をテーマとして幅広い活動を行なってきました。

### メイクアップ

「化粧品を通じて社会・お客様に化粧文化を提案する」ことを使命とし、そのために「リサーチ」「研究・開発」「発信」の3分野で活動を行なっています。

「リサーチ分野」では<女性の化粧意識調査><ファッション・カラー・メイクアップスタイルのトレンド予測><流行商品の実態調査と他社商品の比較調査>などを行なっています。

「研究・開発分野」では、<メイクアップ・ヘアなどの技術開発><プロモーションの美容情報開発><商品開発のためのデータ及びクリエイティブサポート>などの活動をしています。

「発信分野」としてはポスター、雑誌、ビデオ等でのヘア・メイク担当、教育・講演、研究発表などで活動しています。また、発信分野の一環としてメイクアップインスティテュート(メイクアップスクール)を運営し、社内外のヘア・メイクアーティストの育成にも力を入れています。

### スキンケア

「人と環境」の研究を通じて、人がそれぞれ持っている美と健康に対する可能性を最大限に引き出し得るライフスタイルを提案します。

カネボウ化粧品の基本となる美容理論、スキンケア情報・技術を守り育てるために、プロのエステティックから家庭でのスキンケアまでの領域に関する研究開発・啓蒙・教育を行なっています。

### 営業体制

お客様に私たちの商品をお届けいただくお取引様の様々なニーズにお応えすべく、

全国に8つ(北海道、東北、関越、首都圏、中日本、関西、中四国、九州)の支社と30支店を配置。

流通別(ドラッグストア、ストア、専門店、百貨店)戦略を各エリアの特性に合わせて展開し、

エリア内において最適かつ効率的な営業活動を推進しています。

## 教育機関

### カネボウトータルビューティアカデミー

私たちカネボウ化粧品は、歴史の中で培ってきた経験を活かし、美と健康の学校を作りました。トータルビューティを実践できる、優れた人材を育てるため、エステティック、ネイル、アロマセラピーの3つのカレッジを設け、それぞれ資格取得やスキルアップに向けた多彩なコースを用意しています。

「人々の心豊かで幸福な人生に貢献できるプロフェッショナルを育成する」を教育理念に、トータルビューティを具現化できる人材を育てます。

カネボウトータルビューティアカデミー(<http://www.kanebo-academy.com/>)

### カネボウメイクアップインスティテュート

第一線で活躍するアーティストを講師に迎え、国内外の最先端の情報が活かされた、実践的できめ細かい授業内容により、自分でデザインし、クリエイティブ能力を身につけることができます。

1クラスに4～5名の講師、メイクアップドールによるメイク理論の学習、多くの撮影実習、さらには進路相談など、全面的にバックアップします。きちんと理論を覚えれば、メイクは必ず上達し、そして夢は実現されます。

「メイクをもっと知りたい、もっと上手になりたい」方のために。

カネボウメイクアップインスティテュート(<http://www.kanebo-make.com/>)

## 環境への取り組み

### 環境方針

「より美しく、より豊かに、お客さまの生活の質を高め、一人ひとりの幸福な人生と笑顔あふれる社会の実現に貢献する」企業として、事業活動を通じた持続可能な社会の実現を目指し、豊かで美しい地球環境と人々の健康と安全の維持向上に努めます。

1. 持続可能な循環型社会の実現を目指し、環境マネジメントシステムを推進し、事業活動の全局面において維持・改善を図ることにより、環境保全や人の健康、安全に寄与する事業活動の推進を図ります。
2. 環境保全に関する法規制や取り決めに遵守し、自主的な行動基準を設定して実行します。
3. 企業活動の環境影響を十分把握し、環境保全に必要な措置を講じるための組織と目標を設定するとともに、その実施状況を定期的に検証します。  
環境保全に関し、環境負荷削減などの目標、対策、実行計画を策定し、その実施状況を定期的に検証していきます。
4. 全従業員に環境方針を周知し、環境保全への意識高揚に努めるとともに、関係会社を含めた環境管理活動を推進します。
5. すべてのステークホルダーに対してコミュニケーションの維持・推進に努めます。

※詳細に関しては環境への取り組み PDF をご覧下さい

(<http://www.kanebo-cosmetics.co.jp/company/approach/pdf/environment.pdf>)

### 皆さまとともに

カネボウ化粧品は、“美”を通して社会に価値ある企業であり続けたいと願っています。

社員一人ひとりが、日々の事業活動の中で「私たちに出来ることは何だろう」と常に自問自答し、積極的に社会貢献活動に取り組む風土づくりを目指します。

「“美”に携わる者としての使命を胸に、少しでも皆さまの幸福な人生の実現に貢献していきたい。」

カネボウ化粧品の社会貢献活動の一端をご報告します。

### 介護老人保健施設でのご高齢者とのコミュニケーション

カネボウ化粧品(教育センター)は、「新横浜介護老人保健施設 カメリア」様に隔月でセンター講師を派遣、ご利用者のスキンケアやメイクアップの講習を行っています。

普段、美容から遠ざかっているご高齢者に対し、お手入れやメイクを通して元気になってもらいたいという同施設側の希望により、平成14年6月から続いている活動です。

#### ● マッサージやメイクアップをして記念撮影

女性には、クレンジングやマッサージなどのお手入れ、メイクアップの講習後、教育センターが用意したドレスを着用し記念撮影、皆さん満面の笑顔で喜んでいただけます。男性にはフェイシャルに加え、ヘッドやハンドなどのマッサージのレッスンもあるとあって、楽しみにされています。マッサージ中は、皆さん目をつぶって本当に気持ちよさそうな様子です。

私たちは、この活動を通じ、医学では解決できないようなリハビリがお手入れやメイクアップの力でできることを実感しています。



#### ● 「新横浜介護老人保健施設 カメリア」事務局 ご担当者様のお話

「認知症や要介護で入所されている方も、メイク講習後は驚くほど目に力が入り、キリッとした意思を感じます。ぜひ、今後も続けていただきたいです。」

### 皆さまとともに

#### 医療現場におけるエステティック

カネボウ化粧品(美容研究所・エステティックライフラボラトリー)は、1981年から現在にいたるまで、北里大学病院形成外科(神奈川県相模原市)と共同で「メディカルソワンエステティック」に取り組んでおり、これまで約150名の患者さんのケアを行なっています。

##### ● メディカルソワンエステティックとは

形成外科における植皮後等の後治療を「形成リハビリテーション」といいますが、カネボウ化粧品は、形成リハビリテーションの一環として行われるソワンエステティックとして、「メディカルソワンエステティック」を開発、北里大学病院形成外科外来に導入しています。

メディカルソワンエステティックは、生まれつきのアザや、不慮の事故による熱傷・外傷などをおってしまった患者さんに対して、植皮などの手術を施したあとのスキンケアとして行ないます。これは、医師の治療方針に従って施されるco-medical(※)の一部で、「医療と美容の接点」といえます。

エステティシャンは、エステティックや家庭でのスキンケア指導、メイクアップなどの施術を通じて患者さんとの深い信頼関係を構築することによって、患者さんのQOL(クオリティオブライフ)の向上につながるように努めています。

カネボウ化粧品では、1966年から形成リハビリテーションのためのメイクアップ技術開発に着手。翌年、エステティック技術研究を開始しました。以降、数箇所の医療施設において、ボランティアで技術指導および化粧品の提供などを行なっています。

※co-medical(コ・メディカル)とは、本来、医師、又は医師・看護師以外の医療分野である、薬剤・歯科衛生・理学療法・作業療法などの分野を指します。カネボウ化粧品ではさらに、医療と関連付けたエステティック、アロマセラピーなどを含めた領域もco-medicalと位置づけています。

##### ● 施術内容

医療機器「メディカルソワンアパレイタス」を使用します。主に患部への手技によるトリートメント、サクション(毛穴につまった汚れを吸引する)、赤外線パック、電気沈静、整肌、メイクアップなどを行ないます。

##### ● 北里大学形成外科 高山敦子医師のお話

「当大学病院では30年ほど前より、カネボウ化粧品の方に月一回患者様への施術をしていただいています。手術後の傷跡等の外見目のケアだけではなく、内面からのケアも行なえるという点は喜ばしいことと思います。」



### 皆さまとともに

#### 養護学校生徒の皆さんとの交流

カネボウ化粧品(小田原工場・女子ソフトボールチーム)は、毎春、神奈川県立小田原養護学校の生徒の皆さんとソフトボールを通じた交流を行っています。

体を動かすことが大好きな皆さんと一緒に汗を流して活動することで、スポーツの楽しさとともにメンバー全員がとても温かい気持ちになることができます。平成12年から続いています。

カネボウ化粧品小田原・女子ソフトボールチームは現在20名。当日はメンバー全員が小田原養護学校に行き、約100人の生徒さんと交流します。最初にゴロ捕球やトスバッティングなどの練習を行い、その後親善試合。生徒の皆さんはこの交流会を毎年楽しみにしてくれていて、ボールを捕れた喜び、打てた喜びを体全体で表現します。また、試合では負けない気持ちを素直に表現する生徒さんを見て、メンバーも初心を思い返すことができます。半日の交流ですが、とてもすがすがしい気持ちになります。



#### ● 神奈川県立小田原養護学校の先生のお話

「生徒たちは、カネボウ化粧品・女子ソフトボールチームのきびきび・はつらつとしたプレーに感動し、ひとつの事に打ち込む姿を見た刺激は将来の自立に向けての大きな財産となっています。笑顔を決やさず、優しく接してくれるチームの皆さんに、生徒の心もなごみ、スポーツを通じての交流の素晴らしさを感じています。

## 社員とともに

### 世代育成支援への取組み

少子高齢化が私たちの国の将来に深刻な影響を与えることが懸念され、その社会状況を背景として、2003年7月に次世代育成支援対策推進法(次世代法)が公布されました。それに伴い、次代の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境をつくるために国や地方公共団体による取り組みと共に、事業主も仕事と子育ての両立をはかるために必要な雇用環境の整備などを進めることが求められています。



愛称はくるみんです。

#### 当社における取組は

● 2005年5月1日～2007年3月31日

##### 目標1 「育児休業を取得しやすく職場復帰しやすい職場環境の整備」

1. 育児休業制度の周知、啓発を図るとともに、育児休業中の従業員向けに定期的に社内情報を提供する。
2. 計画期間内の男性従業員の育児休業取得者数を1人以上とする。

##### 目標2 「年次有給休暇の取得促進」

管理職を中心とした年次有給休暇の取得に関する意識啓発を実施し、取得促進のための風土作りを行う。

##### 目標3 「職業生活と家庭生活の両立に関する従業員の意識啓発」

研修会、各種ツールにより従業員の意識啓発を実施する。



#### 1. 全国各事業場総務責任、関係会社総務責任者へ取組みを図った。

- ・育児休業中の方への社内報の定期配布
- ・育児休業復帰直前の方への商品勉強会
- ・人事異動等の情報提供
- ・全社通知公文発状・社内報に当社行動計画掲載

#### 2. 男性従業員の取得者実現

新任課長、係長対象にて労務管理に関する研修会を実施。年次有給休暇の取得に関する情報提供を行った。

<課長対象> 2005年8月、2006年2月

<係長対象> 2005年6月、2006年8月 延べ120名

#### 3. コンプライアンス委員会とタイアップし、Eラーニングにおいて意識啓発を行った。

BCnet(ビューティカウンセラー対象の専用情報提供端末)において、意識啓発を実施した。

● 2007年4月1日～2010年3月31日

### 基本活動方針

「意識啓発活動の継続推進を行うとともに周辺環境の整備を行う」

—育児休業者が職場復帰しやすい仕組みづくり—

### 目標1 「意識啓発活動の継続推進(計画的な推進)」

1. 全社員対象に、社内報、イントラを活用し、次世代育成に関する情報提供を行う。
2. マネジメント層対象に、マネジメントリーダーシップスクール、新任係長研修時において次世代育成に係る就業面での制度説明を行う。
3. 休業者へのフォローとして、社内情報の定期的提供、復帰直前でアナウンス、商品情報提供等第一期活動を継続推進する。
4. 男子従業員育児休業取得者を確保すべく、制度を含めた情報提供を行い、計画的に対応する。

### 目標2 「周辺環境の整備」

育児休業者へのフォロー(休業前・休業中・職場復帰直前・職場復帰後の4段階)体制の整備として社内外における相談窓口を設置し、該当者と職場(社会)とのパイプ役的機能を保持する。

1. 各事業場において職場相談員を社内に設置する。
2. 事前に次世代育成支援に関する勉強会を実施する。
3. 中立的立場で休業前後の相談をうける。
4. 外部のコンサルティング専門部署を活用し、休業中における相談窓口機能を設ける。



1. 外部機関による相談窓口の設置
2. 子育て支援等に関する情報提供等

● 2010年4月1日～2013年3月31日

### 目標1 「育児休業を取得しやすく職場復帰しやすい職場環境の整備」

1. 育児休業制度の周知と啓発
2. 男性従業員の育児休業取得者数の増加
3. 育児休業者への定期的な情報提供 目標2 「周辺環境の整備」

#### 【対策】

1. 制度の周知、啓発(平成22年4月～平成25年3月)
  - (1) 社内報・イントラを活用し、全社員に対する情報提供を継続する。特に、男性従業員の育児休業取得促進のための情報等を意識的に提供する。
  - (2) 管理職教育における育児休業制度等に関する情報提供を強化し、意識啓発を促進する。
2. 育児休業者への情報提供(平成22年4月～平成25年3月)

育児休業者の職場復帰支援として、定期的な情報提供と希望者に対する復帰前教育を実施する。

### 目標2 「仕事と子育ての両立支援のための体制整備を推進する」

#### 【対策】

職場内相談員の設置(平成22年4月～平成25年3月)

前期に引き続き取り組む。

1. (1)休業前、(2)休業中、(3)職場復帰直前、(4)職場復帰後、の各段階に応じたフォロー体制を確立するために、職場内相談員を設置、明確にする。
2. 相談員を対象とした研修会を実施し、推進意識の統一化を図る。
3. 外部団体に相談の上、支援体制の整備を推進する。

国内事業所

| 事業所名                       |                | 郵便番号      | 所在地                            | 電話番号         |
|----------------------------|----------------|-----------|--------------------------------|--------------|
| カネボウ化粧品<br>販売株式会社<br>北海道支社 | 北海道支社          | 〒060-0042 | 札幌市中央区大通西 10-4-133<br>第三有楽寺島ビル | 011(231)7171 |
|                            | 函館オフィス         | 〒040-0063 | 函館市若松町2-5<br>明治安田生命函館ビル6F      | 0138(27)2228 |
|                            | 苫小牧オフィス        | 〒053-0022 | 苫小牧市表町2-1-14<br>王子不動産第三ビル6F    | 0144(36)6470 |
|                            | 道東支店           | 〒080-0013 | 帯広市西3条南10-31<br>日本生命帯広駅前ビル4F   | 0155(25)8520 |
|                            | 道東支店<br>釧路オフィス | 〒085-0014 | 釧路市末広町13-1-5<br>釧路サウスビル1F      | 0154(23)3338 |
|                            | 旭川支店           | 〒070-0032 | 旭川市二条通13丁目左7号                  | 0166(22)1466 |
|                            | 旭川支社<br>北見オフィス | 〒090-0818 | 北見市本町3-2-1<br>ナカシンビル本町2F       | 0157(23)5269 |
| カネボウ化粧品<br>販売株式会社<br>東北支社  | 東北支社           | 〒983-0852 | 仙台市宮城野区榴岡2-4-22<br>仙台東口ビル      | 022(298)1760 |
|                            | 青森支店           | 〒030-0903 | 青森市栄町 1-1-21                   | 017(742)3564 |
|                            | 青森支店<br>八戸オフィス | 〒031-0084 | 八戸市十八日町7<br>ジブラルタ生命八戸ビル6F      | 0178(47)2281 |
|                            | 秋田支店           | 〒010-0973 | 秋田市八橋本町1-1-45                  | 018(824)3281 |
|                            | 岩手支店           | 〒020-0034 | 盛岡市盛岡駅前通16-21<br>盛岡駅前通ビル7F     | 019(623)2247 |
|                            | 山形支店           | 〒990-0034 | 山形市東原町2-1-20                   | 023(632)6661 |
|                            | 山形支店<br>酒田オフィス | 〒998-0022 | 酒田市駅東2-14-3                    | 0234(23)1822 |
|                            | 福島支店           | 〒963-8811 | 郡山市方八町2-13-9                   | 024(941)3030 |

## 事業所・拠点一覧

|                            |                    |                          |                               |              |
|----------------------------|--------------------|--------------------------|-------------------------------|--------------|
| カネボウ化粧品<br>販売株式会社<br>関越支社  | 関越支社               | 〒330-0843                | さいたま市大宮区吉敷町1-110-12<br>カネボウビル | 048(658)3611 |
|                            | 埼玉西オフィス            | 〒350-1123                | 川越市脇田本町13-5<br>川越第一生命ビル3F     | 0492(46)5421 |
|                            | 栃木支店               | 〒321-0953                | 宇都宮市東宿郷 2-6-5                 | 028(635)1671 |
|                            | 群馬支店               | 〒370-0813                | 高崎市本町41                       | 027(322)0257 |
|                            | 新潟支店               | 〒950-0963                | 新潟市中央区南出来島1-4-4               | 025(284)6271 |
|                            | 新潟支店<br>長岡オフィス     | 〒940-2127                | 長岡市新産2-7-1                    | 0258(46)8030 |
|                            | 長野支店               | 〒390-0862                | 松本市宮淵1-4-33                   | 0263(32)4122 |
|                            | 長野支店<br>長野北オフィス    | 〒380-0935                | 長野市中御所1-16-13<br>天馬ビル         | 026(227)2212 |
|                            | 茨城支店               | 〒310-0803                | 茨城県水戸市城南2-9-12<br>第3プリンスビル3F  | 029(225)2171 |
| 茨城支店<br>土浦オフィス             | 〒330-0812          | 土浦市下高津3-1-1<br>つくばサンノゼビル | 029(822)2892                  |              |
| カネボウ化粧品<br>販売株式会社<br>首都圏支社 | 首都圏支社              | 〒163-0824                | 新宿区西新宿2-4-1<br>新宿NSビル24F      | 03(4334)7300 |
|                            | 千葉支店               | 〒261-0023                | 千葉市美浜区中瀬1-6<br>NTT幕張ビル18F     | 043(213)6530 |
|                            | 八王子・山梨支店           | 〒192-0046                | 八王子市明神町4-7-14<br>八王子ONビル3F    | 042(646)1861 |
|                            | 八王子・山梨支店<br>山梨オフィス | 〒400-0858                | 甲府市相生1-19-5                   | 055(228)2011 |
|                            | 神奈川支店              | 〒222-0033                | 横浜市港北区新横浜3-1-9<br>アリーナタワー11F  | 045(478)6330 |
|                            | 神奈川支店<br>神奈川西オフィス  | 〒251-0055                | 藤沢市南藤沢5-9<br>朝日生命藤沢ビル2F       | 0466(23)6525 |

## 事業所・拠点一覧

|                            |                 |           |                                    |              |
|----------------------------|-----------------|-----------|------------------------------------|--------------|
| カネボウ化粧品<br>販売株式会社<br>中日本支社 | 中日本支社           | 〒460-0003 | 名古屋市中区錦 1-8-11<br>DNI 錦ビルディング 16F  | 052(212)1160 |
|                            | 豊橋オフィス          | 〒440-0814 | 豊橋市前田町1-6-4<br>富士火災豊橋ビル            | 0532(52)1361 |
|                            | 岐阜オフィス          | 〒500-8842 | 岐阜市金町6-4<br>岐阜東京海上ビルディング3F         | 058(265)0175 |
|                            | 静岡支店            | 〒422-8067 | 静岡市駿河区南町18-1<br>サウスポット静岡6F         | 054(289)5260 |
|                            | 静岡支店<br>沼津オフィス  | 〒410-0056 | 沼津市高島町6-3<br>アゼルビル2F               | 055(926)1450 |
|                            | 静岡支店<br>浜松オフィス  | 〒430-0946 | 浜松市中区元城町115-1<br>住友生命浜松ビル          | 053(454)8401 |
|                            | 北陸支店            | 〒920-8203 | 金沢市鞍月4-115<br>金沢ジーサイドビル            | 076(267)2100 |
|                            | 北陸支店<br>富山オフィス  | 〒930-0085 | 富山市丸の内 1-8-10<br>北陸銀行堤商事富山丸の内ビル 5F | 076(441)1896 |
|                            | 北陸支店<br>福井オフィス  | 〒910-0854 | 福井市御幸3-3-46                        | 0776(23)7727 |
|                            | 三重支店            | 〒514-0004 | 津市栄町2-484                          | 059(227)1221 |
| カネボウ化粧品<br>販売株式会社<br>関西支社  | 関西支社            | 〒540-0001 | 大阪市中央区城見2-2-22<br>マルイト OBP ビル 7F   | 06(4791)7110 |
|                            | 奈良オフィス          | 〒630-8114 | 奈良市芝辻町2-11-5                       | 0742(34)6011 |
|                            | 京滋支店            | 〒600-8357 | 京都市下京区五条通り<br>堀川西入ル柿本町579          | 075(361)3050 |
|                            | 京滋支店<br>福知山オフィス | 〒620-0000 | 福知山市天田118-1<br>JRビル                | 0773(22)2136 |
|                            | 京滋支店<br>滋賀オフィス  | 〒525-0027 | 草津市野村 1-3-2SK キューブ                 | 077(569)0770 |
|                            | 和歌山支店           | 〒640-8154 | 和歌山市六番5番地<br>和歌山第一生命ビル6F           | 073(432)0015 |
|                            | 和歌山支店<br>紀南オフィス | 〒646-0026 | 田辺市宝来町26-31<br>長盛宝来ビル              | 0739(22)1421 |
|                            | 神戸支店            | 〒651-0087 | 神戸市中央区御幸通6-1-12<br>三宮ビルディング東館      | 078(251)8891 |
|                            | 神戸支店<br>姫路オフィス  | 〒670-0964 | 姫路市豊沢町89                           | 079(285)3200 |
| カネボウ化粧品<br>販売株式会社          | 中四国支社           | 〒700-0821 | 岡山市北区中山下 1-8-45<br>NTTクレド岡山ビル 16F  | 086(222)1160 |

## 事業所・拠点一覧

|       |                 |           |                              |              |
|-------|-----------------|-----------|------------------------------|--------------|
| 中四国支社 | 福山オフィス          | 〒720-0811 | 福山市紅葉町2-27<br>日本生命福山ビル4F     | 0849(24)3711 |
|       | 山陰支店            | 〒690-0003 | 松江市朝日町 480-8<br>松江 SKY ビル 3F | 0852(21)0801 |
|       | 山陰支店<br>鳥取オフィス  | 〒680-0846 | 鳥取市扇町7<br>鳥取フコク生命駅前ビル6F      | 0857(22)4116 |
|       | 山陰支店<br>浜田オフィス  | 〒697-0023 | 浜田市長沢町3074                   | 0855(22)1204 |
|       | 山陽西支店           | 〒730-0037 | 広島市中区中町8-12<br>広島グリーンビル7F    | 082(243)2441 |
|       | 山陽西支店<br>山口オフィス | 〒754-0011 | 山口市小郡御幸町1-12-16              | 083(974)2500 |
|       | 東四国支店           | 〒761-8057 | 高松市田村町442-1                  | 087(866)7511 |
|       | 東四国支店<br>徳島オフィス | 〒770-0937 | 徳島市富田橋1-5-2                  | 088(623)1411 |
|       | 西四国支店           | 〒790-0814 | 松山市味酒町1-3<br>四国ガス第3ビル6F      | 089(941)1010 |
|       | 西四国支店<br>高知オフィス | 〒780-8007 | 高知市仲田町7-11                   | 0888(33)8166 |

## 事業所・拠点一覧

|                           |         |           |                               |              |
|---------------------------|---------|-----------|-------------------------------|--------------|
| カネボウ化粧品<br>販売株式会社<br>九州支社 | 九州支社    | 〒812-0018 | 福岡市博多区住吉3-1-80<br>オヌキ新博多ビル 3F | 092(263)8558 |
|                           | 北九州オフィス | 〒802-0081 | 北九州市小倉北区紺屋町13-1<br>毎日西部会館6F   | 093(541)0385 |
|                           | 長崎オフィス  | 〒850-0918 | 長崎市大浦町1-38                    | 095(826)4171 |
|                           | 大分支店    | 〒870-0816 | 大分市田室町9-33                    | 097(545)0445 |
|                           | 熊本支店    | 〒860-0844 | 熊本市水道町14-27<br>KADビル5F        | 096(355)8400 |
|                           | 宮崎支店    | 〒880-0904 | 宮崎市中村東3-4-46<br>カネボウ宮崎ビル      | 0985(51)7111 |
|                           | 鹿児島支店   | 〒892-0825 | 鹿児島市大黒町3-21                   | 099(223)9281 |
|                           | 沖縄支店    | 〒900-0003 | 那覇市字安謝228-2                   | 098(863)1188 |

## 関連施設・関係会社

## 関連施設

| 関連施設名  | 所在地       |                              | 電話番号         |
|--|-----------|------------------------------|--------------|
| カネボウ化粧品<br>教育センター                            | 〒231-0862 | 神奈川県横浜市中区山手町 171             | 045(623)2301 |
| 小田原工場  | 〒250-0002 | 神奈川県小田原市寿町 5-3-28            | 0465(34)6111 |
| 価値創成研究所、<br>スキンケア研究所、<br>メイクアップ研究所<br>アジア研究所 | 〒250-0002 | 神奈川県小田原市寿町5-3-28             | 0465(34)6112 |
| カネボウトータルビューティアカデミー                           | 〒107-0061 | 東京都港区北青山2-14-6<br>青山ベルコモンズ6F | 0570(020)505 |
| カネボウメイクアップインスティテュート                          | 〒103-8210 | 東京都中央区日本橋茅場町<br>1-14-10      | 03(6745)3061 |

## 関係会社・事業部

| 関連施設名   | 所在地       |                                 | 電話番号         |
|---|-----------|---------------------------------|--------------|
| 株式会社エキップ  | 〒141-0032 | 東京都品川区大崎1-6-3<br>大崎ニューシティ3号館 6F | 03(5435)2171 |
| 株式会社リサーチ<br>(LISSAGE BATH TOURS ECM)                                | 〒103-8210 | 東京都中央区日本橋茅場町<br>1-14-10         | 03(6745)3555 |
| カネボウコスミリオン株式会社  | 〒103-8210 | 東京都中央区日本橋茅場町<br>1-14-10         | 03(6745)3611 |
| 株式会社ジョゼ(ファインシーン チャーム<br>ドロップ ミトランテーヌ コスメフィット<br>ベビエナ エムズアップ グラスオール) | 〒103-8210 | 東京都中央区日本橋茅場町<br>1-14-10         | 03(6745)3030 |

## 海外拠点

世界各国・地域でプレステージマーケティングを展開

高い品質評価で確固たる地位を築いています。

現在、欧米、アジアなど計53カ国・地域で展開しています。

欧州・米国ではカネボウは「ハイクラスブランド」として高い品質評価を得て、現地の有名百貨店・化粧品専門店  
で「カネボウインターナショナル」カウンターを展開中です。

アジアでは日本型のマス&プレステージマーケティングを展開しており、特に中国は現地生産ブランド「アクア スプリ  
ナ」を通じ、成長著しい化粧品市場で確固たる地位を築いています。

欧米、アジア各国女性の化粧意識やトレンド情報、市場特性などをリサーチし、カネボウ化粧品のグローバルブラン  
ドとしての地位を支えています。



*Kanebo*  
FEEL YOUR BEAUTY